

RPM 相違点の理解

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[RPM タイプを判別するためにボードを点検して下さい](#)

[RPM \(RPM/A\) の特性](#)

[RPM/B の特性](#)

[RPM-PR \(RPM-400\) の特性](#)

[RPM-XF の特性](#)

[RPM タイプを判別するのに CLI を使用して下さい](#)

[show version コマンドを使用して下さい](#)

[show flash コマンドを使用して下さい](#)

[dir コマンドを使用して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ルート プロセッサ モジュール (RPM) を別のルート プロセッサ モジュールと区別する方法について説明します。Cisco MGX 8800、8230、および 8250 シリーズ 製品のための RPM は別のものと 1 つを区別する必要があるとき混乱を引き起こす場合がある複数の修正を経ました。Return Material Authorization (RMA) 順序を処理するために RPM の 3 つの生成間の違いを識別できる必要があります。

前提条件

要件

この文書の読者には、次の項目に関する知識が必要です。

- Cisco MGX 8800、8230、および 8250 シリーズ 製品 ハードウェア
- Cisco IOS[®] ソフトウェア Command Line Interface (CLI)

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

RPM タイプを判別するためにボードを点検して下さい

この表は一般に利用可能な RPM の 3 つの型の各生成の製品名、主要部分および変更を提供したものです。

注: この表では、X はハードウェアバージョンを表す変数です。

注: SAR = Segmentation And Reassembly

RP M タイプ	他の 名前	処理 エンジン	D R A M	製品番 号	800 レベ ル部 品番 号	RPM 拡張
RP M	RP M/ A	NPE 150	64 M B 12 8 M B	MGX- RPM- 64M= MGX- RPM- 128M=	800- 0454 1-0X 800- 0464 5-0X	
RP M/ B		NPE 150	12 8 M B	MGX- RPM- 128M/B =	800- 0574 3-0X	増強されたフラッシュ メモリ、より速い SAR およびセルバ ススループット
RP M- PR	RP M- 40 0	NPE 350	25 6 M B 51 2 M B	MGX- RPM- PR- 256= MGX- RPM- PR- 512=	800- 0717 8-0X 800- 0765 6-0X	増強されたフラッシュ メモリ、高速プロ セッサ
RP M- XF		RPM -XF1	51 2 M B	MGX- RPM- XF- 512=		余分高速プロセッサ

RPM/B および最小ファームウェアおよび IOS 必要条件への機能拡張についてのその他の情報に関しては、[製品速報を、第 984 参照](#)して下さい。RPM PRs は MGX-RJ45-4E を使用しません。RPM PRs は MGX-RJ45-4E/B を必要とします。MGX-RJ45-4E/B は RPM/B および RPM-PR を

使用します。

RPM ラベルのフロント 前面プレートが正しくない常にことに注意することは重要です。できる何を意味するかさまざまな RPM 前面プレート ラベルはここにリストされ、：

このフロント 前面プレート ラベル...	...この RPM カードを示すことができます:
RPM	RPM/A RPM/B
RPM/B	RPM/B
RPM-400	RPM-PR
RPM-PR	RPM-PR
RPM-XF	RPM-XF

[RPM \(RPM/A\) の特性](#)

モジュールの ATMizerチップによって RPM を識別できます。カラム識別子 L用のカードの上を（カードが保持された直立物のとき）検知して下さい。提供される例では識別は LSI からの 2 つの ATMizerチップです。オリジナル RPM に ATMizer-LX60 と分類される半導体素子があります。これらの下のチップに（L 形成で）それらのデジタルからのロゴがあります。L 形成のチップはこのピクチャの範囲によって示されます：

[RPM/B の特性](#)

またモジュールの ATMizerチップによって RPM/B を識別できます。カラム識別子 L用のカードの上を（カードが保持された直立物のとき）検知して下さい。識別子の下で LSI からの 2 つの ATMizerチップはあります。RPM/B に ATMizer II+ と分類される半導体素子があります。細字印刷テキストの最初の行は ATMizer-LX80 としてこれを識別します。これらの下のチップに（L 形成で）それらの Intel からのロゴがあります。

[RPM-PR \(RPM-400\) の特性](#)

ボードを覆うケースによって RPM-PR を識別できます。チップおよび管理 委員会は目に見えません。

[RPM-XF の特性](#)

ボードのラベル上の追加大文字小文字の区別によって RPM-XF を識別できます。チップおよび管理 委員会は目に見えません。

[RPM タイプを判別するのに CLI を使用して下さい](#)

インストールされるどの RPM を次のものを持っているか識別するのに助けることができるフラッシュメモリ量を RPM Command Line Interface（CLI）で判別するこれらの Cisco IOSソフトウェアコマンドを使用できます：

- [show version](#)
- [show flash](#)

・ [ディレクトリ](#) (特権EXECモード。>プロンプトで最初に enable とタイプして下さい。))
フラッシュメモリ量を判別した後、RPM タイプを調べるのにこの表を使用して下さい:

RPM タイプ	flash size	DRAMサイズ
RPM	4MB	32MB/64MB/128MB
RPM/B	16MB	128MB
RPM-PR	32MB	256MB/512MB
RPM-XF	32MB	512MB

[show version コマンドを使用して下さい](#)

例 1:

この例では、下から 2 番目の行に注意して下さい。この行はフラッシュメモリ量を示します。この場合、16 MB に匹敵する 16384 KB があります。メモリ量はこれに RPM/B.を作ります。

```
m8250-6a-rpm-9> show version Cisco Internetwork Operating System Software IOS (tm) RPM Software (RPM-JS-M), Experimental Version 12.1(20010111:004152) [sw tools-rpm12153t_xt 103] Copyright (c) 1986-2001 by cisco Systems, Inc. Compiled Mon 15-Jan-01 18:07 by swtools Image text-base: 0x60008960, data-base: 0x61306000 ROM: System Bootstrap, Version 11.3(19980722:220418) [phsu-brutus-120 101], DEVE LOPMENT SOFTWARE BOOTFLASH: RPM Software (RPM-BOOT-M), Version 12.0(7)T, RELEASE SOFTWARE (fc2) m8250-6a-rpm-9 uptime is 1 week, 2 days, 22 hours, 44 minutes System returned to ROM by power-on Running default software cisco RPM (NPE150) processor with 98304K/32768K bytes of memory. R4700 CPU at 150Mhz, Implementation 33, Rev 1.0, 512KB L2 Cache Last reset from power-on Bridging software. X.25 software, Version 3.0.0. SuperLAT software (copyright 1990 by Meridian Technology Corp). TN3270 Emulation software. 4 Ethernet/IEEE 802.3 interface(s) 1 ATM network interface(s) 125K bytes of non-volatile configuration memory. 4096K bytes of packet SRAM memory. 16384K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 256K). Configuration register is 0x2102
```

例 2:

この例では、第 4 段落の最初の行に注意して下さい—これが RPM-PR カードであることをこの行は示します。Cisco に RPM-PR カードの 2 つの変化があります; 1 つは 256 DRAM とあり、他は 512 DRAM とあります。 、フラッシュメモリおよびセクタサイズを示す最後の段落の第 2 行の外観 256 が 512 DRAM を区別するため。セクタサイズが 256 である場合、これは 256 DRAM を示します。

```
Router# show version Cisco Internetwork Operating System Software IOS (tm) RPM Software (RPM-JS-M), Version 12.2(8)MC2, EARLY DEPLOYMENT RELEASE S OFTWARE (fc1) TAC Support: http://www.cisco.com/tac Copyright (c) 1986-2002 by cisco Systems, Inc. Compiled Fri 26-Jul-02 12:54 by dchih Image text-base: 0x60008940, data-base: 0x61660000 ROM: System Bootstrap, Version 12.1(20001003:080040) [swtools-rommon400 102], DE VELOPMENT SOFTWARE BOOTLDR: RPM Software (RPM-BOOT-M), Version 12.2(8)T4, RELEASE SOFTWARE (fc1) Router uptime is 2 weeks, 6 days, 10 hours, 15 minutes System returned to ROM by power-on System image file is "c:rpm-js-mz.122-8.MC2.bin" cisco RPM-PR (NPE400) processor with 491520K/32768K bytes of memory. R7000 CPU at 350Mhz, Implementation 39, Rev 3.2, 256KB L2, 4096KB L3 Cache Last reset from s/w peripheral Bridging software. X.25 software, Version 3.0.0. SuperLAT software (copyright 1990 by Meridian Technology Corp). TN3270 Emulation software. 1 FastEthernet/IEEE 802.3 interface(s) 1 ATM network interface(s) 125K bytes of non-volatile configuration memory. 32768K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 256K). Configuration register is 0x2102
```

例 3:

この例では、第 4 段落の最初の行に注意して下さい—これが RPM-XF カードであることをこの行は示します。現在、Cisco は RPM-XF カードの 1 つの型だけを提供します。

```
Router# show version Cisco Internetwork Operating System Software IOS (tm) RPMXF Software
(RPMXF-P12-M), Experimental Version 12.2(20021021:081259 ) [swtools-zenith1.nightly 1072]
Copyright (c) 1986-2002 by cisco Systems, Inc. Compiled Mon 21-Oct-02 01:13 by swtools Image
text-base: 0x4000A940, data-base: 0x41800000 ROM: System Bootstrap, Version
12.2(20020127:182207) [swtools-ROMMON 113], DevTe st Software Router uptime is 2 minutes System
returned to ROM by reload at 23:24:17 UTC Thu Jun 5 2003 System image file is "bootflash:rpmxf-
p12-mz.122124T_XT3" cisco RPM-XF (RPM-XF1) processor with 487424K/32768K bytes of memory. R7000
CPU at 400Mhz, Implementation 39, Rev 3.3, 256KB L2, 4096KB L3 Cache Last reset from register
reset PXF processor tmc0 is running. PXF processor tmc1 is running. 2 FastEthernet/IEEE 802.3
interface(s) 1 Gigabit Ethernet/IEEE 802.3 interface(s) 2 ATM network interface(s) 509K bytes of
non-volatile configuration memory. 65536K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 512KB).
Configuration register is 0x2102
```

[show flash コマンドを使用して下さい](#)

この例では、利用可能なフラッシュメモリの量および使用する量を示す最後の行に注意して下さい。インストールされる合計を判別するために2つの量を追加して下さい。この場合、2448868のバイト等号と959004バイト3407872バイト。これにRPMをするこれはおよそ4MBです、(RPM/A)カード。

```
Router> show flash -#- ED --type-- --crc--- -seek-- nlen -length- -----date/time----- name 1 ..
image C60A2AAE 295DE4 24 2448740 Jan 01 2000 00:01:36 rpm-boot-mz. 121-5.3.T_XT 959004 bytes
available (2448868 bytes used)
```

[dir コマンドを使用して下さい](#)

この例では、利用可能なフラッシュメモリおよび使用中である量の総量を示す最後の行に注意して下さい。32768000バイトが、32MBの、ありこれにRPM-PR (RPM-400)を作ります。

```
Router# dir Directory of bootflash:/ 1 -rw- 2453720 Jan 01 2000 00:01:08 rpm-boot-mz.121-5.3.T 2
-rw- 7910956 Jan 01 2000 00:02:09 rpm-js-mz.121-5.3.T 3 -rw- 7913792 Jan 01 2000 00:09:52 rpm-
js-mz_002.001.000.239 32768000 bytes total (14489148 bytes free)
```

[関連情報](#)

- [ダウンロード : WAN スイッチング ソフトウェア](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)